

1 湯船森林公園MTB LAND（和東町）

【調査事項】

和東町における「きょうと地域連携交付金」を活用した取組について

【調査目的】

子育て環境日本一の推進、地域のにぎわいを創出するスポーツ交流の拡大等府が推進する重点施策との連携により地域の持つ特性を活かし、時代の変化に適合した地域づくりを推進する市町村等を支援する「きょうと地域連携交付金」を活用し施設を整備された和東町の取組を調査する。

【調査内容】

京都府では、府と市町村、市町村相互等の連携により、府施策との相乗効果を発揮し、地域の課題解決に取り組む市町村の事業を支援するため、「きょうと地域連携交付金」を交付している。和東町にある「湯船森林公園MTB LAND」は、同交付金を活用してマウンテンバイク競技用コースを整備された。

和東町湯船地区は、かつては林業が盛んであったが、現在は專業林家はおらず、少子高齢化が進む地区である。湯船森林公園におけるマウンテンバイクを活用した取組は、和東町にフィールドワークに来ていた早稲田大学の大学院生からの提言によって開始され、整備された公園の維持管理については、住民の出資による株式会社へ指定管理者として委託されている。

アジアにおける初開催となるワールドマスターズゲームズ2021関西において、マウンテンバイク競技がこの湯船森林公園で開催されることが平成28年に決定したことを受け、令和元年10月にワールドマスターズゲームズ和東町実行委員会が設立され、本年3月末に国際規格に沿ったスタートコースの整備が完了した。10月31日及び11月1日には、世界基準のマウンテンバイク競技大会を開催し、2日間で延べ900名を超える参加者があった。

海外からも多くの人に参加するワールドマスターズゲームズの開催は、和東町にとって生業の茶畑景観という魅力を世界中の人にPRする絶好のチャンスであり、住民の協力のもと、大会を盛り上げていきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・観光客やアスリートのための宿泊施設の整備状況について
- ・地元住民による地域活性化に向けた取組について など



調査事項を聴取



現地を視察

2 D-m a t c h a株式会社（和東町）

【調査事項】

民間企業と連携した「お茶の京都」の取組について

【調査目的】

お茶の京都エリアにおけるDMOと民間の連携による観光資源の発掘や着地型旅行商品の開発について調査し、新たな観光資源について視察する。

【調査内容】

一般社団法人京都山城地域振興社（通称：お茶の京都DMO）では、交通事業者との連携によるカーシェアリングやループバスの運行、旅行会社との連携によるツアーの開催など、民間事業者と連携して交通の利便性の向上や魅力ある観光コンテンツの創出に取り組んでいる。民間事業者の特性を活かしたオリジナリティに溢れるコンテンツは、国内外の旅行者から好評である。

お茶の京都DMOと連携する民間企業のひとつ、D-m a t c h a株式会社は、2016年に和東町で設立された茶農家であり、お茶を栽培するだけでなく、自ら商品を企画し、和東町の中心部にあるカフェでお茶を使用した料理やスイーツ、お土産用のお茶などの販売を行っている。

また、和東町を訪れる国内外からの観光客等を対象に、茶摘みや工場見学などの体験ツアーを実施し、お茶が作られる背景を観光コンテンツとして提供することで、お茶だけでなく和東町という地域のファンを増やしている。

同社は健康を重視する国外の顧客もターゲットにしており、和東町湯船地区の寒冷な気候を活かすことにより、難しいとされる無農薬のお茶の生産にも取り組むなど、持続可能な農業を実践している。自社のサービスや商品のレベルを向上させ、雇用の維持と働きやすい環境を作ることや、国内外から広くインターン生を受け入れることによって、和東町における持続可能な地域創生の事例となることが目標であるとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 農家宿泊の推進について
- ・ 和東町でお茶を生産するメリットについて
- ・ お茶の無農薬栽培における困難な点について
- ・ 同地域における他社の参入について など



調査事項を聴取



お茶による観光コンテンツを視察